

平成18年度 和歌山県文化奨励賞

なか がみ のり 中 上 紀

住 所：東京都日野市

出 身 地：東京都国分寺市

生 年：昭和46年

◎業績及び経歴

昭和46年、東京都国分寺市に生まれる。

小学校の卒業旅行として父に連れられていったフィリピンへの旅が出会いとなり、アジアの国々に興味を持つ。

高校からアメリカへ留学し、ハワイ大学に進学、アジア美術史を学ぶ。

研究旅行でタイ奥地やミャンマーを訪れた際、「信仰に密着した暮らしや貧しくても他人を思いやる暖かさが父親の故郷である熊野と似ている」と感動、平成11年にミャンマーを旅したときの心象風景を綴ったエッセイ『イラワジの赤い花』を発表した。

同年、タイへの卒業旅行を描いた小説『彼女のプレнка』で第23回すばる文学賞を受賞した。

「旅」を重要な主題として、小説のほか、紀行文、エッセイなど多方面にわたり執筆活動を展開、活躍している。

平成16年に『夢の船旅 父中上健次と熊野』を出版。他の著書に『パラダイス』『悪霊』『アジア熱』『いつか物語になるまで』『水の宴』『シャーマンが歌う夜』などがある。

また、作家で父の中上健次が開いた文化講座「熊野大学」においては、毎年、全国から集まった参加者と討議しており、平成18年には基調講演を行った。

■現在

作家

武蔵野大学日本語日本文学科非常勤講師

日本ジャーナリスト専門学校非常勤講師

■主な表彰歴等

平成11年 第23回すばる文学賞